

全国のコミュニティ・スクールの実践が初めて集う

第1回

全国コミュニティ・スクール 研究大会 in 春日市

人・水・緑 美しく映えるまち（春日市白水大池公園）

開催日 平成24年 8月22日(水)

会場 クローバープラザ
福岡県春日市役所横、JR鹿児島本線春日駅前(博多駅から12分)

受付 午前の部 クローバープラザ センター棟1階 クローバーホール前
午後の部 クローバープラザ アリーナ棟2階 大ホール前

プログラム

9:30	10:00	10:50	11:10	12:00	13:00
受付	【九州・沖縄ブロック実践発表（全14分科会）】			昼食	
	<分科会第1部>	移動	<分科会第2部>		

※ 各実践発表の会場・案内図は、研究大会当日の受付でお知らせします。

13:00	14:20	16:30	17:10
【全体行事】 【記念講演】 アフラック最高顧問 大竹 美喜 氏	【フォーラム／質疑応答】 テーマ：地域とともにある学校づくりと コミュニティ・スクール	【講評】 元文部科学副大臣 鈴木 寛 本連絡協議会顧問	【全体行事】

■主催 全国コミュニティ・スクール連絡協議会、春日市教育委員会

■企画協力 文部科学省

■後援 福岡県教育委員会、福岡県市町村教育委員会連絡協議会、福岡県PTA連合会
日本教育公務員弘済会福岡支部、春日市自治会連合会
日本教育新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社
NHK福岡放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、テレビ西日本、FBS福岡放送 他

全国コミュニティ・スクール研究大会の第1回開催にあたって

このたび、福岡県春日市で開催いたします「第1回全国コミュニティ・スクール研究大会」は、日本の全ての学校が、小・中学校の連携・接続に留意しながら、地域の方々と目標(子ども像)を共有し、地域の方々と一体となって子どもたちを育てていくことをめざす「地域とともにある学校づくり」に資する大会です。

全国のコミュニティ・スクールの校数は、昨年4月時点においては789校でしたが、本年4月には1,183校に拡大している状況です。文部科学省は、さらに地域とともにある学校づくりを促進する観点から平成24年度からの5年間でコミュニティ・スクールを3,000校に拡大することを目標としております。このような状況の中で開催される本大会は、私たち「全国コミュニティ・スクール連絡協議会」と文部科学省が連携し、更なるコミュニティ・スクール運動推進に取り組む、大きな契機として位置づけているものでもあります。

学校は、子どもたちの豊かな学びを創造し、地域の絆をつなぐ、地域とともにある学校でなければなりません。

会員、特別会員、賛助会員の皆さまをはじめ、それ以外の教職員、保護者・市民そして多くの教育関係者の方々のご参加をよろしくお願いいたします。
 全国コミュニティ・スクール連絡協議会 会長 貝ノ瀬 滋

午 前 の 部

九州・沖縄ブロック実践発表 分科会第1部10:00～10:50 分科会第2部11:10～12:00

◇第1会場

※各実践発表の会場・案内図は、研究大会当日の受付でお知らせします。

	発表者	発表テーマ	発表内容
第1部	佐賀県佐賀市立赤松小学校 主幹教諭 石橋 一徳 地域 堤 和義	トライ・ザ・赤松 ～個人レベルの深化を目指す 指す参画意識改革～	コミュニティ・スクールへの保護者・地域住民の参画意識を、団体レベルから個人レベルへ深化させるという目標を掲げた赤松コミュニティ・スクールの日々の実践の一端
第2部	福岡県春日市立天神山小学校 主幹教諭 陶山 嘉一 保護者 前原 昭子 地域 荒木 貢	地域ぐるみの健康づくり プロジェクト	児童の健康づくりを推進するために、学校・家庭・地域の三者で連携・協働する「ふれあい行事」と、それを支える“わんぱくウォーク”“食育”等の積み上げによる「日常活動」の取組

◇第2会場

	発表者	発表テーマ	発表内容
第1部	熊本県玉名市教育委員会 教育長 森 義臣 熊本県玉名市立玉名中学校 校長 谷口 慶志郎	教育の充実を支援する学校運営協議会を目指して	教職員に生徒一人一人と向き合える時間を保障し、地域の人的資源を結集して生徒の「生きる力」の育成を支援するための学校運営協議会の組織づくり
第2部	福岡県春日市立春日北中学校 主幹教諭 田中 清美 生徒 行武美晴、坂根脩太郎 地域 秋枝 恵美	「スチューデント・コミュニティ」による地域貢献活動	「地域づくりの担い手」となる生徒を育成するために、学校と地域が連携したスチューデント・コミュニティによる地域貢献活動の取組

◇第3会場

	発表者	発表テーマ	発表内容
第1部	福岡県那珂川町立那珂川北中学校 主幹教諭 岡本 泰弘	中学校ブロックを活用した小中9年間で子どもを育む取組	中学校ブロックに拡大コミュニティ・スクール委員会を位置付け、小中連携に関わる内容を中心とした、ブロックとしてのコミュニティ・スクールの在り方
第2部	佐賀県嬉野市立塩田中学校 教諭 中島 明俊	「熟議」を活用して学校運営協議会の活動を推進した取組	学校運営協議会で、学校と地域の連携の在り方を考える「熟議」を実施し、その解決策の一つとして中学生が地域に貢献したボランティア活動

◇第4会場

	発表者	発表テーマ	発表内容
第1部	福岡県宇美町立桜原小学校 主幹教諭 高田 竜也 保護者 渡邊 美佐、梅尾 和代 地域 内村 眞治	学校・家庭・地域が協働した「桜原っ子」を育む取組	協働責任方式による学校運営協議会を中核とし、学校・家庭・地域が熟議することを通して取組を評価・改善した実践
第2部	大分県豊後高田市立田染小学校 校長 坂本 美佐子	地域とともにある学校づくりをめざして	田染小生生きコミュニティを「体力・安全」「学び」「環境」の3つのコミュニティに位置付け、学校と地域が相互サイクルを確立しながら地域とともにある学校づくり

◇第5会場

	発表者	発表テーマ	発表内容
第1部	福岡県大木町立大莞小学校 主幹教諭 徳永 裕	地域に根ざす子どもを育てる学校づくり	地域の協力のもと年間を通して活動している「田んぼ学習」と「大莞祭り」を取り上げての、組織の機能化を図るコミュニティ・スクールの在り方
第2部	鹿児島県鹿児島市立武岡小学校 校長 小路 由美子	学校支援ボランティア事業を活用した地域に開かれた学校づくり	学校教育目標の実現や学校の課題の解決に、学校とともに取り組む地域住民や保護者の教育力を生かした学校支援ボランティアの活動

◇第6会場

	発表者	発表テーマ	発表内容
第1部	福岡県春日市立日の出小学校 教頭 平野 孝二 教諭 合六 明 保護者 中野 京子	学校と家庭の「響育」が実る日の出小学校の取組	学校と家庭が「学び」の共有目標を設定し、協力して子どもの成長を促す実践
第2部	熊本県氷川町及び八代市中学校組合立氷川中学校 校長 赤星 稔	地域と協働で子どもを育むコミュニティ・スクールと学校評価	学校と地域が協働して子どもを育てていくために、地域行事や学校行事協働の取組と、学校運営協議会が学校評価を通してサポートする取組

◇第7会場

	発表者	発表テーマ	発表内容
第1部	福岡県春日市立春日西中学校 主幹教諭 中本 克典	ブロックコミュニティ・スクールにおける学校評価システムの構築	ブロックコミュニティ・スクールの取組を検証する学校評価システムを学校・家庭・地域が連携して創り上げる取組
第2部	福岡県福津市立福間中学校 教諭 井上 伸和 保護者 木本 圭子 地域 山口 覚	それ面白い！やりましよう！～大人の本気が、子どもを変える！～	福間中で取り組んだ、学校・家庭・地域との共働事業の事例。福津市郷育カレッジとの連携や地域の方との「本気」「本物」の交流から見えてきた生徒の変容

午後 の 部

全体行事 13:00～13:30

- (1) 主催者挨拶 全国コミュニティ・スクール連絡協議会 会長 貝ノ瀬 滋
 (2) 開催地挨拶 福岡県春日市 市長 井上 澄和
 (3) 来賓挨拶 文部科学省 初等中等教育局 審議官 尾崎 春樹 氏

記念講演 13:30～14:10

『教育に希望をつなぐ』 アフラック最高顧問 大竹 美喜 氏

フォーラム／質疑応答 14:20～16:30

テーマ『地域とともにある学校づくりとコミュニティ・スクール』

- <ねらい> (1) コミュニティ・スクール制度導入の背景は何か
 (2) コミュニティ・スクール指定によって学校や地域はどう変わったか
 (3) 課題は何か—教職員の勤務負担・予算・委員の人材確保など
 (4) 独自に工夫していることは何か

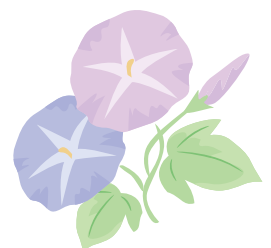
- 【登壇者】 富樫 繁樹 (北海道三笠市教育委員会教育長)
 持田 浩志 (東京都武蔵村山市教育委員会教育長)
 生田 義久 (京都市教育委員会教育長)
 永江 多輝夫 (鳥取県南部町教育委員会教育長)
 山本 直俊 (福岡県春日市教育委員会教育長)
 【コーディネーター】 佐藤 晴雄 (日本大学教授・本連絡協議会事務局長)

講評 16:30～17:00

元文部科学副大臣 鈴木 寛 全国コミュニティ・スクール連絡協議会顧問

全体行事 17:00～17:10

主催者挨拶 福岡県春日市教育委員会 教育長 山本 直俊



第1回全国コミュニティ・スクール研究大会 【参加申込書】

※ 提出期日 平成24年7月27日(金)

ふりがな			
氏名			
所属		職名	
連絡先			

研究大会の出欠等

※ 希望する事項に○を付けてください。

午前の部	出席・欠席		
参加希望会場	分科会第1部	第1会場・第2会場・第3会場・第4会場・第5会場・第6会場・第7会場	
	分科会第2部	第1会場・第2会場・第3会場・第4会場・第5会場・第6会場・第7会場	
午後の部	出席・欠席		
昼食希望(800円)	有・無		

※ 必要事項を記入の上、FAX (092-584-1153) でお申し込みください。

※ 複数名で申込みされる場合は、コピーしてお使いください。

交通案内

●鉄道利用の場合

JR博多駅 → JR春日駅 →
(鹿児島本線普通12分) (徒歩1分)

西鉄福岡駅 → 西鉄春日原駅 →
(西鉄大牟田線急行10分)(徒歩10分)

●車利用の場合

太宰府IC →
(通常時約10分)



クローバープラザ



【問い合わせ先】

福岡県春日市教育委員会
 ☎816-8501 福岡県春日市原町3-1-5
 TEL 092-584-1128 (教務課)
 FAX 092-584-1153

【全国コミュニティ・スクール連絡協議会役員】

- 会長 東京都三鷹市教育長 貝ノ瀬 滋
(北海道・東北支部長及び関東・甲信越支部長を兼任)
- 副会長 京都市教育長 生田 義久
(中部・近畿支部長を兼任)
- 中国・四国支部長 岡山市教育長 山脇 健
- 九州・沖縄支部長 春日市教育長 山本 直俊